

科目名	小児看護学概論	単位	1	時間	30	講師名	教員
開講時期	1年生 2学期						
科目の目的と概要	小児の特徴を理解すると共に小児看護における役割を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4、DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 成長・発達段階ごとの特徴が述べられる 2. 成長・発達段階に応じた看護が理解できる 3. 小児看護における概念や理論を理解できる 4. 子どもを取り巻く法律や制度を述べられる						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 小児の特徴と成長・発達					2	講義
2	胎児期・新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期における成長発達① グループワーク					2	演習
3	胎児期・新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期における成長発達② グループワーク					2	演習
4	胎児期・新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期における成長発達③ 発表					2	演習
5	胎児期・新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期における看護①					2	講義
6	胎児期・新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期における看護② 小児看護における概念と理論 ピアジェの認知発達理論、ボウルビイの愛着理論、マラーの分離－ 個体化理論					2	講義
7	小児看護・医療における諸統計					2	講義
8	遊びと成長発達の関係 グループごとに発表(各個人の玩具についての課題)					3	講義
9	子どもを守る法律と制度 グループワーク (母子保健法・児童福祉法・学校保健安全法・児童虐待防止などに関する法律と施策)					2	演習
10	子どもを守る法律と制度 発表					2	演習
11	医療における子どもの権利 小児医療・小児看護における倫理的配慮					2	講義
12	小児看護の対象と看護師の役割 小児看護の場と特徴					2	講義
13	症状を示す小児の看護(啼泣・不機嫌・発熱・脱水・呼吸困難)					2	講義
14	症状を示す小児の看護(痛み・嘔吐・下痢・痙攣)					2	講義
15	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	新体系看護学全書 小児看護学概論・小児保健(メヂカルフレンド社) 新体系看護学全書 健康障害をもつ小児の看護(メヂカルフレンド社) 看護のための人間発達学(医学書院)						
関連科目	健康支援論、小児看護学						

科目名	小児看護疾病論	単位	1	時間	30	講師名	院内講師(医師)
開講時期	2年生 1学期						
科目の目的と概要	小児期の特徴的な健康障害を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4、DP5の達成に寄与						
到達目標	小児期の特徴的な健康障害を理解することができる						
回数	教育内容					時間	方法
1	オリエンテーション 皮膚疾患					2	講義
2	眼疾患、耳鼻咽喉疾患					2	講義
3	呼吸器疾患					2	講義
4	循環器疾患					2	講義
5	消化器疾患					2	講義
6	腎・泌尿器疾患					2	講義
7	運動器疾患、神経・筋疾患					2	講義
8	血液疾患・腫瘍					2	講義
9	感染症					2	講義
10	内分泌・代謝疾患					2	講義
11	アレルギー疾患、免疫疾患・リウマチ疾患					2	講義
12	精神疾患とメンタルヘルス・神経発達症候群					2	講義
13	外傷・小児救急					2	講義
14	新生児の特徴と疾患					2	講義
15	染色体異常・先天異常					1	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	新体系看護学全書 健康障害をもつ小児の看護(メヂカルフレンド社)						
関連科目	健康支援論、小児看護学概論、小児看護疾病論、小児看護方法論Ⅰ、小児看護方法論Ⅱ						

科目名	小児看護援助論	単位	1	時間	15	講師名	院内外講師
開講時期	2年生 2学期						
科目の目的と概要	安全・安楽を保持するための、小児看護に必要な看護技術を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4、DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 小児の全身状態を観察し、処置をするための技術が理解できる 2. 重症心身障害のある児の看護が理解できる 3. 重症心身障害のある児の看護に必要な技術が習得できる						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 小児の成長・発達及び全身状態を観察するための技術 ①コミュニケーション②バイタルサイン③身体計測 ④カウプ指数⑤ローレル指数					2	講義
2	2)小児の与薬技術 ①与薬、経腸、座薬、注射、点滴、貼布 ②点滴管理の実際					2	講義 演習
3	3)検体採取 ①採血、採尿、採便 2. 安全・安楽を保持するための技術:抑制					2	講義 演習
4	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 3. 重症心身障害のある児の看護 1)症状:姿勢・運動・筋緊張の異常、呼吸障害、痙攣 2)症状を緩和するための看護					2	講義
5	3)二次的予防のための援助 リハビリテーション、環境整備(転倒・転落予防) 4)発達を促すための援助(レクリエーション) 5)長期入院する児と家族との関わりをもつための援助					2	講義 演習
6	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 4. 重症心身障害のある児の呼吸を整える技術 ①人工呼吸器装着中の看護、吸引、ポジショニング ②呼吸リハビリ、ポジショニング、体位変換の実際					2	講義 演習
7	5. 重症心身障害のある児の摂食・嚥下リハビリテーション 摂食・嚥下とは 嚥下リハビリテーション(直接訓練・間接訓練) 食事介助の実際					2	講義 演習
8	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	新体系看護学全書 健康障害をもつ小児の看護(メヂカルフレンド社) 写真でわかる小児看護技術 アドバンス(DVD付)(インターメディカ)						
関連科目	健康支援論、小児看護学						

科目名	小児看護方法論	単位	1	時間	30	講師名	教員
開講時期	2年生 2学期						
科目の目的と概要	小児各期の特徴的な健康問題を理解し、小児及びその家族に対し、成長・発達を促し、病気の回復及び健康の保持増進のための看護を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4、DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 小児各期の特徴的な健康問題を理解できる 2. 小児及びその家族に対する看護、支援が理解できる						
回数	教育内容					時間	方法
1	1. 急性期の経過をたどる児の看護 1) 腸炎の急性症状の早期発見・対処					2	講義
2	2) 腸炎の看護について					2	講義
3	3) 肺炎の急性症状の早期発見・対処					2	講義
4	4) 肺炎の看護について					1	講義
5	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 2. 先天性疾患・手術療法を受ける児の看護 1) 先天性心疾患を持つ児と家族への援助					2	講義
6	2) 手術療法を受ける児と家族への援助					2	講義
7	3) 事例／ファロー四徴症の患児の看護(乳幼児期) ①看護過程の展開					2	演習
8	②インフォームドコンセント プレパレーション					2	演習
9	③発表と解説					3	講義・演習
10	3. 慢性疾患をもつ児の看護 1) 慢性疾患を持つ児と家族への援助 2) 事例／ネフローゼ症候群の患児の看護(学童期) ①看護過程の展開					2	講義・演習
11	看護過程の展開					2	演習
12	②発表と解説					3	講義・演習
13	4. 予後不良の経過をたどる児の看護 1) 予後不良の疾患を持つ児と家族への援助 2) 白血病の患児の事例検討(骨髄穿刺含む)					2	講義
14	3) 終末期にある児と家族の心理の理解と援助					2	講義
15	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	新体系看護学全書 健康障害をもつ小児の看護(メヂカルフレンド社) 写真でわかる小児看護技術 アドバンス(DVD付)(インターメディカ)						
関連科目	健康支援論、小児看護学						